

令和4年1月29日（土）

新型コロナウイルス感染症、感染報告 [第1報]

社会福祉法人 春濤会 理事長 久保寺 玲

当法人が運営する福祉型障害児入所施設『八幡学園』（定員65名）で、園児及び職員の感染が判明しました。令和4年1月28日（金）時点で、児童22名と職員9名の感染者数でクラスター（集団感染）となっています。現在のところ、重症者はありません。発熱など症状のある子は、看護師や職員が感染防止に留意しながら、看護を続けています。発熱児は、皆数日で解熱しています。ちなみに、初発児童は、1月26日（水）の時点で療養経過観察期間は終了しています。

また、八幡学園の他に、学園と同一敷地で運営の放課後等デイサービス『ひまわり』（定員10名）でも、配属職員1名に感染が確認されましたが、こちらは1月26日（水）午後の時点で感染状況は終了との判断を、管轄保健所からいただいています。理由は、感染拡大兆候がないこと、事業所職員のPCR検査が全員陰性だったこと、濃厚接触者の特定もなかったこと、ということです。

昨夏7月に引き続いてのクラスター発生となり、関係各位方面にはご心配をおかけし誠に申し訳ありません。昨夏の経験を踏まえてマニュアルを再度整え、日々の各種感染防止対策には、職員間で特に力を入れてまいりました。が、年明けからの第6波の全国的な急激な感染拡大の中、再度のクラスターという事態になってしまいました。皆様には重ねてお詫び申し上げます。

現在、保健所及び所轄行政の助言指導に従い、職員一丸となり早期収束をめざし、看護と感染拡大防止に努めています。ご理解の程、お願い申し上げます。

今回の発症後の経過と現況につきまして、下記ご報告します。対策本部が初動の対応などに追われる中、発信がたいへん遅れました点、ご容赦下さい。

1月17日（月）

- ・男児1名が、発熱で学校早退。下校後、市内クリニックの発熱外来に通院し、PCR検査を受ける。
検査を受けた男児が暮らす年少男児寮は、男児を含め10名全員、翌日登校を自粛することにした。

1月18日（火）

- ・午前9時40分、男児の検査結果がクリニックから伝えられる。結果は陽性。直ちに、関係行政（都、県、市の各所管課）と必要な関係者に一報を入れる。
- ・前日からの男児の隔離看護対応を継続し、男児の生活寮を罹患児発生寮とし、マニュアルに基づく対応を開始する。対策本部を設置し、対応策を協議決定。
- ・園児と職員の接触者計29名のリスト作成。看護師より、昨年ワクチン接種で繋がりの出来た市内開業医に相談連絡したところ、同医師より接触者対象検査を、来園の上で実施するとの申出があり19日（水）午後1時半より、園内にて検査が実施されることになる。保健所との連絡調整も、同医師が間

に入り対応して下さった。

- 管内地域の感染者急増下、保健所が多忙で、午後5時前よりようやく保健所との連絡が始まり、午後8時過ぎ、濃厚接触者が特定された。濃厚接触者は、男児と同じ生活寮（10名ユニット）児童9名。職員は、昨夏以来、支援現場ではフェイスシールドとマスク等常時着用などで濃厚接触者なし、との判断となる。

1月19日（水）

- 予定通り、午後1時半より、市内の協力開業医来園によるPCR検査を実施。接触が判明した児童1名を追加、児童16名＋職員14名＝30名。検体は、直ちに医師の手により保健所に提出された。
- 保健所と園児通学校とのやりとりにより、濃厚接触者児童が3名増え12名となる。理由は、学校のスクールバス内で初発の男児と席が近いため。

1月20日（木）

- 罹患児発生対応寮とした初発の男児生活寮で、発熱児が増える。マニュアルに従い、防護服着用などで職員が児童の看護にあたる。
- 午後7時半、保健所より前日提出30名分の検査結果が通知される。児童4名が陽性。結果が判明していない者が児童1名と職員1名。他24名は陰性。

※ 罹患者が5名となり、クラスター（集団感染）となる。

1月21日（金）

- 午前11時半、保健所から検査結果の未確定者2名（児童1名、職員1名）の結果連絡が入る。両名とも陽性。感染者が児童6名＋職員1名＝7名となる。検査結果を受け、園内の防疫体制を強化、必要な対応をとる。
- 陽性判明の職員は、居住地の管轄保健所の指示に従っての自宅療養となる。
- 陽性者との接触者リストを新たに作成。保健所と協議し、2回目の集団検査を行うことになり、予定人数30名分の検査キットを保健所に受け取り行く。

1月22日（土）

- 接触者リストに基づき、児童16名＋職員14名＝30名分の検体を保健所に午前中に提出する。
- 発熱病休の職員が、PCR検査を1/21（金）に自主的に受ける。結果待ちとの連絡が入る。
- 罹患児が出ている年少男児寮2ユニットを隔離寮とする等園内をゾーニングしながら、マニュアルに基づき園児支援と看護を継続する。
- 罹患判明児6名は、1名を除き解熱し体調快復する。

1月23日（日）

- 午後1時、保健所から前日提出の30名（児童16名、職員14名）の結果連絡が入る。新たに児童5名と職員2名が陽性となる。感染者が児童11名＋職員2名＝13名となる。その他、発熱病休した職員が訪問診療で抗原検査を受け陽性との連絡が入る。

- 1/21（金）に自主的に PCR 検査を受けた職員の結果が判明。陰性。
- 本日（1/23）、病休した職員が PCR 検査を受ける。結果判明は明日以降。
- 罹患児が増え、園内の 5 寮 1 ホームの内、4 寮が隔離罹患児発生寮となる。
- 罹患児の大半は、解熱し体調快復。発熱児 2 名の看護継続。
 - * 陽性判明職員 2 名の内一人は、法人の放課後等デイサービス配属職員。そのため、放課後等デイサービスは、1/24（月）以降、当面は自粛休業とする。

1月24日（月）

- 前日の 2 回目集団検査の陽性判明児との接触者リストを作成。3 回目の集団検査を、1/25(火)に実施することとなり、リストの 26 名分の検査キットを、保健所に受け取りに行く。
- 前日病休し、PCR 検査を受けた職員の結果が判明。陽性との報告がある。職員の罹患者が 1 名増え、罹患者は 15 名となる。（園児 11 名+職員 4 名）
 - * 職員の内 1 名は、法人の放課後等デイサービス配属者のため、『八幡学園』としての感染者は園児 11 名+職員 3 名の 14 名となる。（1/24 現在）

1月25日（火）

[八幡学園]（福祉型障害児入所施設）

- 接触者リストに基づき、児童 16 名+職員 10 名=26 名分の検体を保健所に午前中に提出する。
- 学齢児の主な通学先である県立市川特別支援学校から、当面の間の全校臨時休業の通知が届く。
 - * 同校に通学中の八幡学園園児は、発生当初の 1/18 の全員自主早退後より、通学自粛を継続中。

[ひまわり]（放課後等デイサービス）※ 八幡学園と同一敷地内で運営。

- 主任以下、スタッフ 6 名（運転手含む）の検体を、八幡学園分と一緒に保健所に提出する。
- 保健所とは前日来、管理者が連絡とる。職員 1 名のみの感染に留まっている事もあり、検査は指示ではなく希望があれば受け付けるということであった。そのため、スタッフは希望で検査を受ける事とした。利用児ご家族にも連絡打診ををするが、結果としては希望者はいなかった。
- 事業を八幡学園の同一敷地と建物内で運営しているため、学園の感染拡大の状況を考慮し、当面、自粛休業する方針となり、本日より休業を開始する。

1月26日（水）

[八幡学園]（福祉型障害児入所施設）

- 前日提出の 3 回目の集団検査（児童 16 名+職員 10 名=26 名分）の結果が、午後 5 時、保健所から通知される。児童 10 名と職員 4 名が陽性。他は陰性。
- 児童は寮内個室隔離看護を開始。職員は出勤停止、自宅療養となる。
 - * 今回の検査対象外だった職員 1 名が、前夜からの発熱で通院検査。結果は陽性。そのため、職員の陽性者が一人増える。

- ・検査結果を受け、陽性者との接触者リストを作成。保健所と協議、27日に4回目の集団検査を実施することとなる。児童4名＋職員4名＝8名。
- ※1月26日（水）時点で、感染者が、児童21名と職員8名の29名となる。重症者はなし。児童は発熱児は概ね解熱。症状の出ている子は、看護師が診て、職員が寮内個別看護を継続。罹患児のいないユニットは6箇所中、2ユニット。

[ひまわり]（放課後等デイサービス）※ 八幡学園と同一敷地内で運営。

- ・前日提出のスタッフ6名の検査結果通知が、保健所よりある。全員、陰性。
- ・保健所より、事業所の感染状況は収束、との判断が伝えられた。理由は下記のとおり。
 - * 今回の事業所職員の検査結果が全員陰性であったこと、職員1名の他に感染者が出ていないこと、濃厚接触者の特定もなかったこと、以上の状況から収束と判断する。
- ・事業再開については、『八幡学園』と同一敷地の園舎と園庭で運営を行っていることから、学園内の感染状況が収まるまで、見合わせることにした。
- ・スタッフは、学園のクラスター対応の応援に入ることになった。

1月27日（木）

- ・4回目集団検査（児童4名＋職員4名＝8名分）の検体を、午前中に保健所に提出。
 - ・結果が、午後8時過ぎ、保健所から通知される。児童1名と職員1名が陽性。結果が未確定の児童が1名。他5名は陰性。
 - ・初発の児童が、健康観察療養期間を終え、本日より隔離解除となり、感染者が一人減ったが、夜になり新たに陽性者1名が判明したため、児童感染者数は変わらず。職員は1名増えて9名となる。
- ※1月27日（木）時点で、感染者が、児童21名と職員9名の30名となる。（放課後等デイサービス職員1名を除く）

1月28日（金）

- ・4回の集団検査を経て、陽性者の新たな接触者がいないものと判断し、今後は児童の健康観察と看護の中で、感染が疑われる症状が出た場合に、個別に保健所と協議しながら検査を行う方針とした。当面、感染疑いの児童はなし。
 - ・午後4時前、4回目検査で結果未確定児童が、陽性であったことが通知される。
 - ・罹患児含め、児童に大きな体調不良の者は出ていない。罹患職員も、喉の痛み等症状が続く者はいるが、体調快復を図りながら、各自の管轄保健所の指示で健康観察療養を継続中。
 - ・職員に発熱病欠者1名。通院し自主検査。結果は2～3日後との連絡が入る。
- ※1月28日（金）時点で、感染者が、児童22名と職員9名の31名となる。